

式壇に並べられた人形を供養する僧侶



# 思い出を胸に刻み合掌

## 斐川 人形と縫いぐるみ供養

子どもの成長などで不

用になった人形と縫い

ぐるみの供養祭が24日、

斐川町出西のJA斐川

町典礼センター「虹の

ホールかなび」であ

り、参列した町民ら80人

がお世話になった人形に

感謝を込めた。供養料の

一部は、東日本震災の

被災地に義援金として送

物を大切にすることで供

養してもらおうと、同セ

ンターが開館1周年に合

わせて企画。町内や出雲

市などから、250件を

超える人形の持ち込みが

あった。

式壇にキャラクターの

縫いぐるみやひな人形

などが並べられ、近く

にある仁照寺の江角弘

道住職(66)ら4人の僧

侶が読経。出席した親

子たちは、人形の思い

出を胸に刻みながら一人

ずつ焼香し、手を合わせ

た。

江角住職の法話に続け

て、出席者は大震災犠牲

者の冥福と復興を祈念。

斐川西中学校合唱部OB

の高校生たちは、澄んだ  
歌声で被災地にエールを  
送った。



4月26日  
火曜日